



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕員

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30  
会場 グランドホテル神奈中 2F  
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内  
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2024 年 9 月 5 日 第 3483 回 週報第 3483 号

本日 9 月 5 日	会員数 62 名	対象者 62 名	出席者 39(39) 名	出席率 62.90 %			
前々回 8 月 8 日	会員数 62 名	対象者 62 名	出席者 39(39) 名	出席率 62.90 %	MUP 1 名	計 40 名	修正率 64.52 %

## 第一回情報集会報告会

テーマ

## あなたが求める「ROTARY WILL」 ～平塚ロータリークラブの意志とは～

赤グループ 守屋宣成幹事 発表者：杉山利行副幹事

い。例会にはプライドを持って参加している。

開催日 令和 6 年 8 月 19 日 (月)  
時間 18:30 ~ 21:00  
場所 肉バルマルコ

### ②今後変えた方がよいと感じること

出席者 赤グループメンバー  
守屋宣成 (幹事)、鳥海衡一、  
柏手茂、飯塚和夫、森誠二、  
山森啓太、関口幸恵、杉山  
利行 (副幹事)



守屋グループ幹事の合図により「①活動するにあたって大切にしていること」②

今後変えた方がよいと感じること」について各人が意見を述べた。

### ①活動するにあたって大切にしていること

- ・人脈を大切にしている。知り合った人との繋がりを大切にしている。
- ・出来るだけ参加して知識を深めていくことを大切にしている。
- ・世代が違う人との人脈を大切にしている。入会のきっかけでもあり先輩方にアドバイスを頂いている。入会したことで企業出向者の方との人脈も作れた。
- ・平塚ロータリークラブの歴史と伝統を伝えることを大切にしている。
- ・キーワードは地域で、自分の仕事が地域に必要とされているという想いを大切にしている。ロータリアンとして職業奉仕の想いで地域に還元したい。
- ・地域で一番の奉仕をしたいという想いを大切にしている。組織に入会するのであれば平塚ロータリークラブと思ってもらえる奉仕をしたい。プライドと、その想いをもって活動を続ければ会員も増加していくはずである。
- ・活動の原点は自分のクラブであるという想いを大切にしている。
- ・基本的に参加することを大切にしている。参加しているとロータリー Will が自然に身に付くと思う。そのため色々な人と話をしたい。
- ・会員を知ろうとする姿勢を意識している。築いてきた歴史と信用を保ちたい。そのために色々な人と関わりたい

- ・下ネタ等のレベルが低い言動はやめるべきと思う。人としての品格、ロータリアンとしての品格を持って行動すべきである。
- ・ロータリアンとしての知識を深めたいと思う。
- ・職業奉仕活動の意識を高めるべきだと思う。地区代表に感謝して代表の活躍を理解すべきと思う。地区出向経験者による卓話を行ってはどうか。
- ・一度地区出向となると期間が長くなる傾向があり、若手を含めて人を変えた方が良いのではないか。
- ・地区出向者の人数は各クラブの会員数に比例させるよう働きかけてはどうか。また、地区出向者の指名はガバナーから本人に直接ではなく、クラブを通じて本人に伝えるよう変えた方が良いのではないか。
- ・入会后 5 年以内の人の意見を吸い上げられる体制に変えてはどうか。変革と進化の想いにより組織活性化が図れると思う。
- ・新入会員の万 (よろず) 相談役を定めてはどうか。
- ・スマイル用紙を A4 に変えた方がよいと感じる。
- ・会員が定着する更に魅力ある組織に変えたい。
- ・歴史があるクラブ故に、過去の慣例に縛られて動きにくく感じる時がある。慣例に縛られず柔軟で動きやすい組織に変えた方がよいと感じる。
- ・次世代の意見は取り入れるべきと考える。
- ・コロナ過入会者は親睦を図りにくかったことより、意識して親睦を図るべきと考える。
- ・会費は原則引落であるため、領収書は廃止しても良いのではないか。領収書発行を継続するのであればインボイス対応すべきではないか。
- ・国際大会等の登録料の支払いについて、JTB が支払うのではなく、平塚 RC から支払い、引き落としにした方が良いのではないか？

以上

橙グループ 秋山智幹事 発表者：青山紀美代会員

2024.9.2 橙グループ情報集会は  
10 名中 8 名、三荒会長、グループ幹事は秋山会員、副幹事は高橋茂久会員、常盤会員、永瀬先生、瀬尾会員、新

堀会員、青山で、焼き鳥もりやにて開催しました。司会進行役は秋山幹事で「あなたが求めるロータリーウィル」ロータリーで一番大切なもの、大切に考えている事を伺い、前半はかなり真面目に熱く語りました。



最初は、昼間忙しい永瀬先生、少年少女マラソン大会で医務担当下さっている永瀬先生、実は陸上部で19才100m11秒の俊足だったことが判明。医療に関するアシストをしっかりと貢献することが自分のWILL=職業奉仕と考えているとの事でした。

#### ・メリット

手話の卓話などで、知らない事を知るのは勉強になる異業種交流、お付き合いで入会し今のところは得る事が多く充実した時間。

ロータリーに定年がない、年齢層が幅広い。

#### ・問題点

4つのテスト唱和は、組織として動いているかどうか疑問

新しい事業を始めるのが大事だが単年度で変わるため難しい

2年間例会に出ていない、辞めたい、会費だけ払っている、優先順位が低いのに辞めない、なぜか？辞めても良いけど皆と会えるチャンスがある、いずれ地域に貢献、活躍するために継続している。ステイタスでもある。人口減、企業数減、ロータリー人口減、が課題。

#### ・アイデア

夜例会を多くする。でも二次会を好まない人も居るのでバランスが大事

横浜ロータリーの入会待ちが50~60人、そのように平塚もなると良い。昔は平塚も入会できなかった事があり子クラブが作られた。

メンバーが同じだと飽きるので新会員は必要。新会員を育てる環境や、新会員に活躍してもらえ役割や場をもっとつくりよう。

こんな人に会えた、こんなこと知った、こんな人と名刺交換できる、をもっとつくりよう。

他団体に入っている・いないは考えず、垣根を作らないようにしよう。

お酒がすすんだ後半は、やっぱり「もりや」は美味しい。意見が盛り上がったのは高橋会員、瀬尾会員、新堀会員、秋山会員が一歳違いで学生服の裏チェーンの話になった時と、鳥海会員が、カーリーナ1600CC、4ドアで鳥山さんをお迎えに行きスキーに行った話で盛り上がり鳥山さんの供養になるといいね、と。三荒会長には出会いの愛「A1」があると有難いお話をいただき、最後は健康の話、結論としては健康があつての奉仕だという事で納得しました。

#### 緑グループ 又城雅弘幹事 発表者：阿形将之副幹事

開催日：2024年8月29日(木) 19:00～  
開催場所：MARE YUHIGAOKA

参加者(敬称略)：又城 雅弘、清水 孝一、小野 学、青木 薫、小林 誠、阿形 将之

議題：あなたが求める『ROTARY WILL』～平塚ロータリークラブの意志とは～  
【前提】  
意志とは・元になる気持ち、心持ち



#### 【RCにおける活動】

米山奨学生／交換留学／被災地支援金／エンドポリオ／インターアクト／ローターアクト

#### 【活動意義】

- ①会員同士の交流、親睦
- ②地域社会への貢献
- ③こども食堂への支援
- ④SDGSへの取り組み
- ⑤山林保全活動への参加

#### 【緑グループとしての考え】

日本人初のRI会長である東ヶ崎潔さんが世界のロータリアンに発信のメッセージ「PARTICIPATE！」すなわち、「参加し敢行しよう！」の考えが最も大切であるが、ただ参加するのではなく、自らが能動的に入って行き、先輩が手を差し伸べる姿勢も必要である。

例会への欠席、或いは活動への不参加が続くと、参加への意識・習慣(癖)も薄れるが、個人の考えや、個々の事業もあり、不参加に対する揶揄はあるべきではない。

参加する事で相互理解に繋がるが、その一つの手段である卓話については、新会員主体や外部招聘に加え、ベテラン・中堅会員による機会も拡大していく事で、参加しなければ損となる意識も醸成される。

RCの活動における課題もある。例) エンドポリオに関しては先進国における蔓延感がなく、全世界を巻き込んで取り組むべきことかどうか。日本のロータリーがRIへの資金拠出額に比べ発信力が弱い。

RI本体が何をやっているのかの疑問にも繋がっているのではないかと。また、優先活動である奉仕活動の意味合いも平塚RCとして考える必要もある。

取り組む事業は何でもよく、平塚RCとして独自性があっても良い。また、世界に目線を向けるのか、三方よしの考えで、地域目線で無理のない範囲のつながりと貢献であつても良いのではないかと。

#### 黄グループ 葛西敬幹事 発表者：葛西 敬幹事

##### 第1回情報集会

テーマ：あなたが求める「ROTARY WILL」～平塚ロータリークラブの意志とは～

グループ：黄色 開催場所：若むらさき

黄色グループの情報集会であるが去る8月29日(木)当日は台風の影響が入り強い雨が降る中であつたが多くの出席者 升水・清水裕・馬上・江藤・鈴木・島田・今

村・相原・葛西の9名で若むらさきにおいて開催した。まずテーマが大きくて難しいという事でなかなか意見が出なかったが、会長経験者の清水裕さんに口火を切ってもらって頂き、テーマからは少しずれるかもしれないが各人がロータリーで思うことを一人一人発表してもらった。ちなみに今回のこのテーマはあなたという個人と平塚ロータリーという組織という二つの切り口があると思われる。



そこでまず共通して多く出た意見として、個人的にロータリーに入会して本当に良かったという事であった。ロータリーに入会した目的は各人それぞれ違うが、組織で揉まれることによって自分が目に見えて成長出来たり、親睦からではあるが仲間意識が芽生え皆に会える事が楽しかったり、人脈が広がったり、この組織に属し義援金などで少しでも困っている方の為になるアクションを起こした際に今、自分がこの場所この時間をメンバーと共有できている事は頑張ってくれている社員さんがいるからであって今、自分を取り巻く環境が当たり前に出てくる事に改めて感謝の気持ちを感じたなど。

これらは親睦を通じ個人的に感じた価値観が高まったという事であるが、ここからが大切で、ロータリーはあくまで奉仕がベースにあるという事である。親睦がきっかけでロータリーに参加しやすくなり、先輩の背中を見ながら例会や事業に参加し奉仕について理解し行動につなげていければ良いのではないかと。そして役が付くに従い奉仕について理解が深まり次に繋げていく事が大切。そしてここまでがあなた個人が求める WILL である。

そして～平塚ロータリークラブの意思※とは～に移るが、この意思は思いではなく志の間違いだと思うが(会長所信は志)、これは組織として結果を出すための覚悟を持って行動すると理解できる。第69年度に関しては三荒会長が掲げる8つのクラブ目標を各委員会並びにメンバーが遂行し結果を出すことであると思うが、会長所信にある「超我の奉仕」の精神が未来永劫績絆がれるクラブになれるように行動していく事が大切なのではないか。

※配布資料に誤字がありました。

## 青グループ 元吉裕員幹事 発表者：元吉裕員幹事

第1回情報集会 青グループ  
テーマ【あなたが求める「ROTALY WILL」～平塚ロータリークラブの意志とは～】

青グループの情報集会は9月2日(月) 日本料理 松風にて6名で行われました。美味しいお料理と美味しいお酒を堪能しながらの会でした。今井社長様にはお心遣いいただきありがとうございます。



平塚ロータリークラブは歴史がすごくあるので、クラブビジョン声明にもあるように伝統を堅持しつつ、ただ時代が色々変わっていくので、五大奉仕は守りつつ今の若い人たちの気持ちとか、今の時代はこうですよって変えていっても全然問題ないかと思います。

ロータリークラブに入りたいて言われたときにその入口として、経営の悩みとか異業種交流だとか、いわゆる職業奉仕の部分になるかと思うのですが、まずは参加してみて感じてもらえればと思います。

よく言う、よそ者、若者、バカ者みたいな話がありますが、いつも俯瞰的に物事見てくれる、内側にいたら気づかないこともあったりして、よそ者が入ったときになんか堅苦しいなって感じたりして、そういうのを醸し出しちゃってる組織もよくないかと思います。

JC 出身、YEG 出身とかその連中が固まってしまうたりするとよそから入ってきた人は疎外感を感じてしまうこともある。

また企業出向の方々には限られた期間で理解をしていかなければならない。

五大奉仕といいながらすべて参加できるわけではないので、ここは関われるかな、関われないかなというのを自分たちなりに参加している意味とか自分たちにはなにができるんだろとか、時間を費やすわけなので考えてしまう。

直接的なメリットではないかもしれませんが、ほかの地に移ったとしても、平塚で交流のあった方々とは連絡をとりあったりできる関係性を作りたと思います。それってロータリーでないと多分できないことなんじゃないかと思います。

平塚はすごいポテンシャルがあるのにもったいない。ディベロッパーからみると地方の一都市でくらの位置づけだったりする。ちゃんとした価値観を持つてる人たちがたくさんいるのに。

平塚ロータリークラブから商工会議所の会頭、副会頭を輩出している。そういう面はすごくプラスに働いてると思います。色んなかたちでアドバイスや情報が普通に入ってくる。これはとても素晴らしいことだと思う。

最後に、平塚のロータリークラブには素晴らしい人財と情報と歴史がある。伝統を堅持しつつも変えるべきことと守るべきことを精査しながら広く発信していけるクラブとなっていければと思います。

## 紫グループ 笹尾茂樹幹事 発表者：縄嶋智徳副幹事

出席者：笹尾茂樹、縄嶋智徳、成瀬正夫、杉山昌行、高橋建二、柳川信男、平井敬規、原田篤志、吉野事務局

RCの入会動機として、大きく「親睦」と「奉仕」の2つの面がある。今、平塚 RC にとって、最も大切なことは、「親睦」を深めることではないか。親睦を深めることで、会員相互に一致団結がうまれ、その先に何か新しいカタ

チの「奉仕」がうまれるのではない。「奉仕」とは、何かモノを与えることだけではない。親睦こそが最大の奉仕でもある。しかし、ただの親睦だけでは他の団体と変わらない。そこに、奉仕と親睦のバランスを保つことが、RCとしては大事である。



例えば、親睦を深めるために、夜間例会を増やすことも1つ。夜間の情報収集会を通して、通常の例会では話すことがない会員とも話す機会が出来たという例もある。会員相互のコミュニケーションが増えると、より親睦が深まり、退会者なども減る。

そして、RC内での親睦が深まることで、必然と例会に出席するようになり、いつのまにかRCが生活の一部となっている。この「継続」が、最大の成果ではないか。

幹事報告

嬉しいお知らせです。

2023-24白石会長年度が見事に多くの課題目標を達成され、ロータリー賞を受賞されました。10月20日地区大会で受賞クラブとして2023-24年度今村幹事に登壇頂きますが、一足先に23-24年度国際ロータリーのマッキナリー会長より表彰状が届きました。回覧いたしますので、ご覧ください。

地区大会について

地区大会のパンフレットをお配りさせて頂きました。ご確認ください。また、地区大会出欠のご回答を頂き、有難うございました。本会議には25名、新世代交流会は1名の参加となりました。地区大会への参加人数はロータリー賞の課題目標の1つでもありますが、1つ目標達成となります。ご出席のご回答、有難うございました。

A collage of information including a Rotary logo, a map of the venue, and details about the 2024-2025 regional conference.

ごあいさつ



佐々木 延郎 副会長兼幹事
保田 昌雄 副会長兼副幹事

親睦なロータリー会員の皆様、平塚ロータリー会館に集って親睦の時間を共有し、情報共有しあひまらうと決まっています。国際ロータリー連合の2023-24年度地区大会が平塚市にある本会館で開催されます。

地区大会は親睦の時間を共有し、情報共有しあひまらうと決まっています。国際ロータリー連合の2023-24年度地区大会が平塚市にある本会館で開催されます。

今年度の地区大会は、平塚市にある本会館で開催されます。国際ロータリー連合の2023-24年度地区大会が平塚市にある本会館で開催されます。

地区大会講演会プログラム

「ミニコンサート」(元ロータリー副会長)
「大和音楽協会 音楽の世界」

PROGRAM

A detailed table listing the program for the regional conference, including dates, times, and speakers.

10月19日(土)・10月20日(日)
地区大会のご案内
右の2次元バーコードより
ご覧いただけます。



地区米山奨学セミナー/カウンセラー研修会について

去る8月24日(土)に地区米山奨学セミナー/カウンセラー研修会が開催されました。クラブより米山記念奨学会の又城委員長と米山奨学生カウンセラーの青山会員が出席されました。お疲れ様でございました。

大阪・関西万博、開幕日の入場券について

7月にお知らせいたしました、来年4月12日(土)開催の大阪・関西万博 開幕日の入場券及び予約のお申込みの締め切りが迫っておりますので最終のご案内です。ご希望の方は9月12日(木)までに事務局までお申し込みください。

ロータリー奨学生の募集について

各テーブルにパンフレットのコピーを配布させて頂いておりますが、2025-26年度のロータリー奨学生の募集が行われております。お知り合いのご子息に留学をお考えの方がいらっしゃいましたら、是非お声がけをお願い致します。応募者のクラブへの申し込み締め切りは10月4日(金)となっております。申請書類やパンフレット要項は地区HPからダウンロードが可能です。

平塚信用金庫様講演会について

平塚信用金庫様より、例年開催されます講演会のご案内を頂いております。

日時：10月25日(金) 午後3時開演
会場：ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール
講師：松木安太郎氏(元サッカー日本代表、サッカー解説者)
講演会タイトル：「個性が組織を強くする時代」

回覧を致しますので、ご希望の方は事務局まで9月12日(木)までにご連絡をお願い致します。

委員会報告

○雑誌委員会 葛西敬委員長

横書き5ページRI会長メッセージ、ファミリーの意味最後の段落、クラブの会員やロータリーファミリーの他の会員も「ロータリーが自分の居場所」だと感じられるよう、自分にできることをぜひ考えてみて下さい。というメッセージ

14ページ ロータリーの友は雑誌AERAより発行部数で上回っているというのが意外にすごい。これは誇りを持っていいことではないでしょうか。

64ページ「この人訪ねて」では中村辰雄さん(相模原南ロータリークラブ)の紹介です。

○親睦委員会 松本崇委員長

先日の例会 花火大会の参加費を次回の例会で徴収致しますので宜しくお願い致します。

○会員増強委員会 小林誠委員長

70周年に向けて3カ年計画で70名の会員にしていこうという計画です。

各委員会へロータリーに興味のある方をご紹介下さいという案内が回っていると思いますので、ぜひよろしくお願いたします。

○柏手茂会員

9/15の日曜日にひらしん平塚文化芸術ホールと湘南ケーブルネットワークの共催でひらつか演芸フェスティバル2024を開催致します。チケットを20名分プレゼントさせていただきますので、落語、漫才、動物ものまねなど、ご興味のある方はぜひお越しください。



8月27日にご逝去された鳥山優子パストガバナー補佐、65年度会長に黙祷を捧げました

今週のお祝い

誕生日祝い・・・小野学会員、前田孝平会員  
結婚祝い・・・笹尾茂樹会員、中野豊会員  
入会記念月・・・飯塚和夫会員、関口幸恵幹事、嶋田政光副幹事、佐野正敏会員

メイクアップ (MUP) 1名

白石慎太郎会員

本日のスマイル 16名+6グループ

ゲスト 2名

有限会社芦川商事 代表取締役 芦川栄子様  
米山奨学生 ケダレ、ガウリ マノジさん

ビジター 0名

卓話・行事予定

9月11日(木) 平塚市災害対策課 大平啓太様、  
牧田茉夕様  
9月19日(木) 休日週の休会

市内例会変更 現在ございません

米山奨学生へ奨学金授与



ケダレ、ガウリ マノジさんへ奨学金をお渡ししました。

